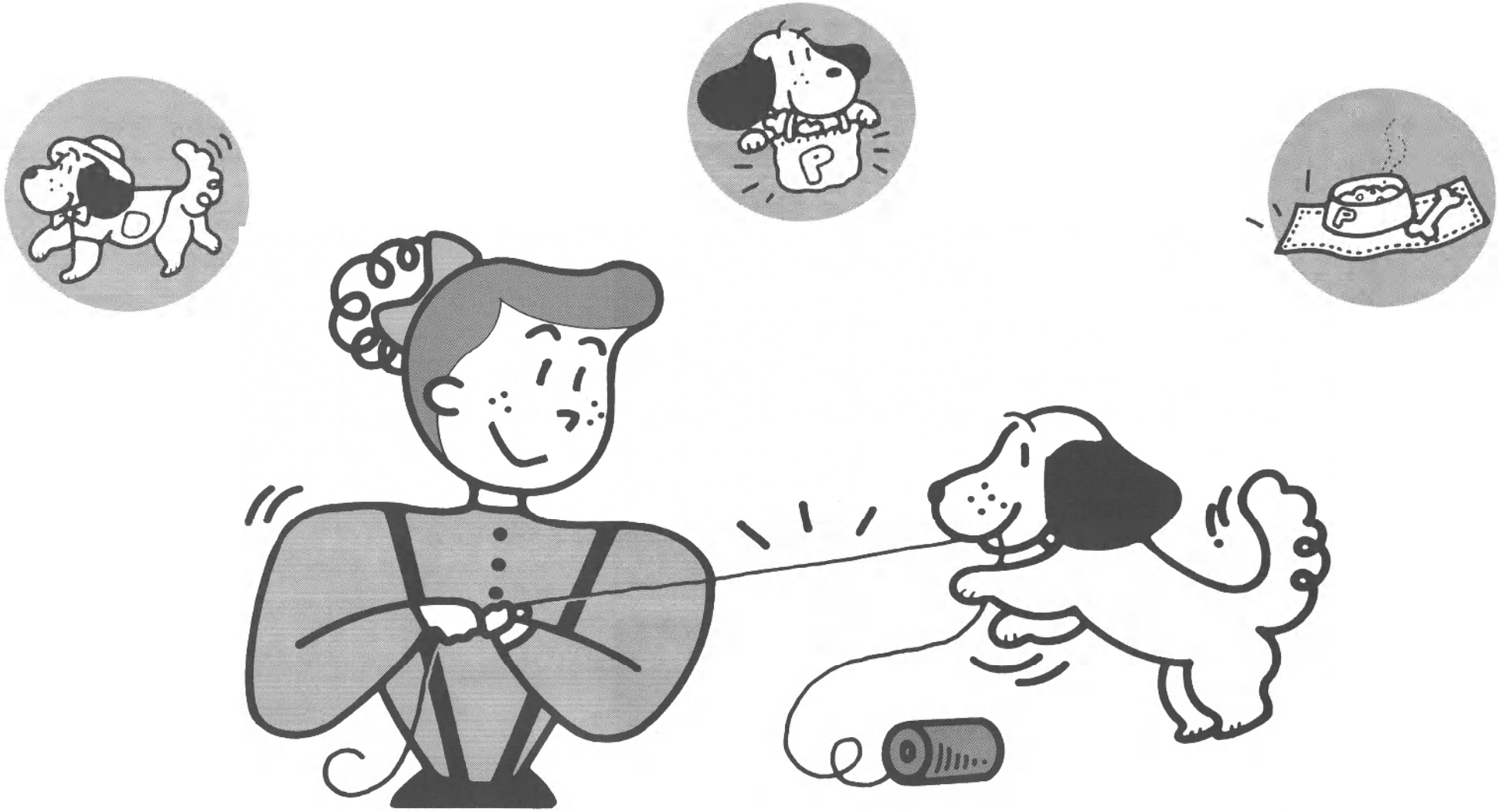
電子ミシン　取扱説明書

ZZ3-B547

brother

- ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。
- 取扱説明書はなくさないように大切に保管してください。



安全にご使用いただくために

このミシンを安全にお使いいただくために、以下のことがらを守ってください。

⚠ 警　告

○ 一般家庭用電源100Vでご使用ください。
○ 以下のようなときは電源を切り、電源プラグを抜いてください。
　● ミシンのそばを離れるとき　● ミシンを使用した後　● 運転中に停電したとき
※ 過熱や火災の原因となります。

⚠ 注　意

火災・停電の原因となります

○ お客様のご自身での分解、改造はしないでください。
○ 電源コードの接続には、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
○ 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張って抜かないでください。
○ ミシンの換気用の穴をふさがないでください。
○ ミシンの換気用の穴やコントローラーに糸くずやほこりがたまらないようにしてください。
○ コントローラーの上にものをのせないでください。
○ ミシンの内部に異物をいれたり、ドライバーなどを差し込まないでください。
○ ミシンに水などをこぼさないでください。
○ スプレー製品をご使用の部屋、または酸素を扱っている場所ではご使用にならないでください。
○ 屋外またはストーブやアイロンのそばでは使用しないでください。　ミシンの使用温度は０℃～４０℃です。
○ 以下の場合はミシンのご使用をすみやかにおやめになり、お近くの販売店またはブラザーのサービスセンターにて修理または調整をお受けください。
　● 電源コードまたは電源プラグが破損したとき　● 正常に作動しないとき　● 落下などにより破損したとき　● ミシンが濡れたとき

障害の原因となります

○ ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、プーリー、天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
○ お子様の玩具としてご使用にならないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、安全に対し注意を払ってください。
○ 針の周辺で以下のときは、必ず電源を切ってください。
　● 針に糸を通すとき　● 下糸をセットするとき　● 針を交換するとき　● 押えを交換するとき
○ 取扱説明書に記載のある整備を行うときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
○ ミシンには正規の部品をご使用ください。
○ 曲がった針はご使用にならないでください。
○ 縫製中に布をむりに引っ張ったり押したりしないでください。
○ ミシンを移動するときは、取っ手を持って行ってください。
○ ランプが切れたときの交換は、ガラス部分が熱くなくなるまで待ってから行ってください。

このミシンは日本国内向家庭用です。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

もくじ

■ 糸と針の選択早見表 ―― 1
■ ぬい方早見表 ―― 1
■ 付属品 ―― 1
■ 各部の名称 ―― 2

A ぬう前の知識

■ 模様選択ダイヤル ■プーリー ―― 3
■ 送り歯カバー ■電源コード ―― 3
■ 上糸調子ダイヤル ■押えあげレバー ―― 4
■ スピードコントロールレバー ■ぬい目の長さ調節ダイヤル ―― 4
■ 返しぬいレバー ■スタート/ストップスイッチ ■フリーアームにするには ―― 4

B 糸の通し方

■ ボビンの下糸巻き ―― 5
■ 下糸のセット ―― 6
■ 上糸のかけ方 ―― 7
■ 糸通し装置の使い方 ―― 7
■ 手動で下糸を引き出す場合 ―― 8

C ぬってみましょう

■ 基本操作 ―― 9
■ 糸調子 ―― 9
■ 押えの付け替え方 ―― 10
■ 片押えの使い方 ―― 10
■ まつりぬい押えの使い方 ■裁ち目かがり押えの使い方 ―― 11
■ ジグザグ押えを使った飾りぬい ―― 12
■ ボタン穴かがり押えの使い方 ―― 12・13

D ミシンを大切に

■ 針の交換 ―― 14
■ ランプの交換 ―― 15
■ お手入れ ―― 15
■ トラブルチェック ―― 16

■布地と糸と針の選択早見表

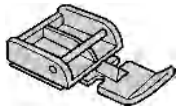
布地の種類	普通地			薄地			厚地			のびる布地		ほつれやすい布地			ステッチ糸の場合	
	ブロード	タフタ	ギャバジン フラノ	ローン	ジョーゼット	ポーラ	デニム	コーデュロイ	ツイード	トリコット	ジャージ					
糸種類	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	ニット用糸		カタン糸	合繊糸	絹糸	合繊糸	絹糸
糸太さ	60〜80	60〜80	50〜80	60〜80	60〜80	50〜80	40〜50	50	50			50〜60	50〜80	50〜80	30	30
針太さ	11〜14			9〜11			14〜16			ゴールド針 11〜14		9〜14			16〜18	

■付属品

付属品は、必ず本機専用付属品をご使用ください。

・ 補助テーブル内に付属品が収納されています。

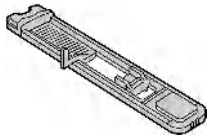
ジグザグ押え



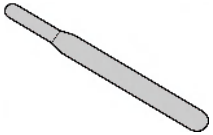
片押え

裁ち目かがり押え

まつりぬい押え

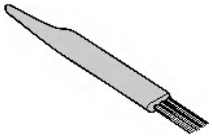


ボタン穴かがり押え



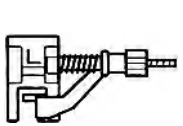
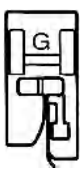
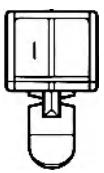
リッパー

送り歯カバー



ミシンブラシ

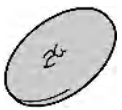
■ぬい方早見表

模様の種類	直線		ジグザグ			裁ち目かがり	ジグザグ三重ぬい	三重ぬい	シェルタック	スカラップ	フェザー	まつりぬい		裁ち目かがり	直線	ボタン穴かがり
模様番号	2	3	4	5	6	9	14	15	8	10	12	7	11	13	3	1
模様選択																
押え記号							J					L 		G 	I 	A
主な用途	薄地・ステッチ	普通地・厚地	その他裁ち目かがりアップリケパッチワーク			裁ち目かがり（のびる布地）	その他飾りぬい	「ぶにしたいとき ぬい目をじょう 地縫い・飾りぬい」	シェルタック	スカラップ	飾りぬい	まつりぬい（普通布地）	まつりぬい（のびる布地）	裁ち目かがり	その他ピンタックおとしミシンファスナー付け	ボタン穴かがり
ぬい目の長さ調節ダイヤル	★		★			★			★	★		★	★		★	★

ミシン針

ボビン

※ ボビンは必ず専用ボビンをご使用ください。
（モデル名：B052…5 個セット）

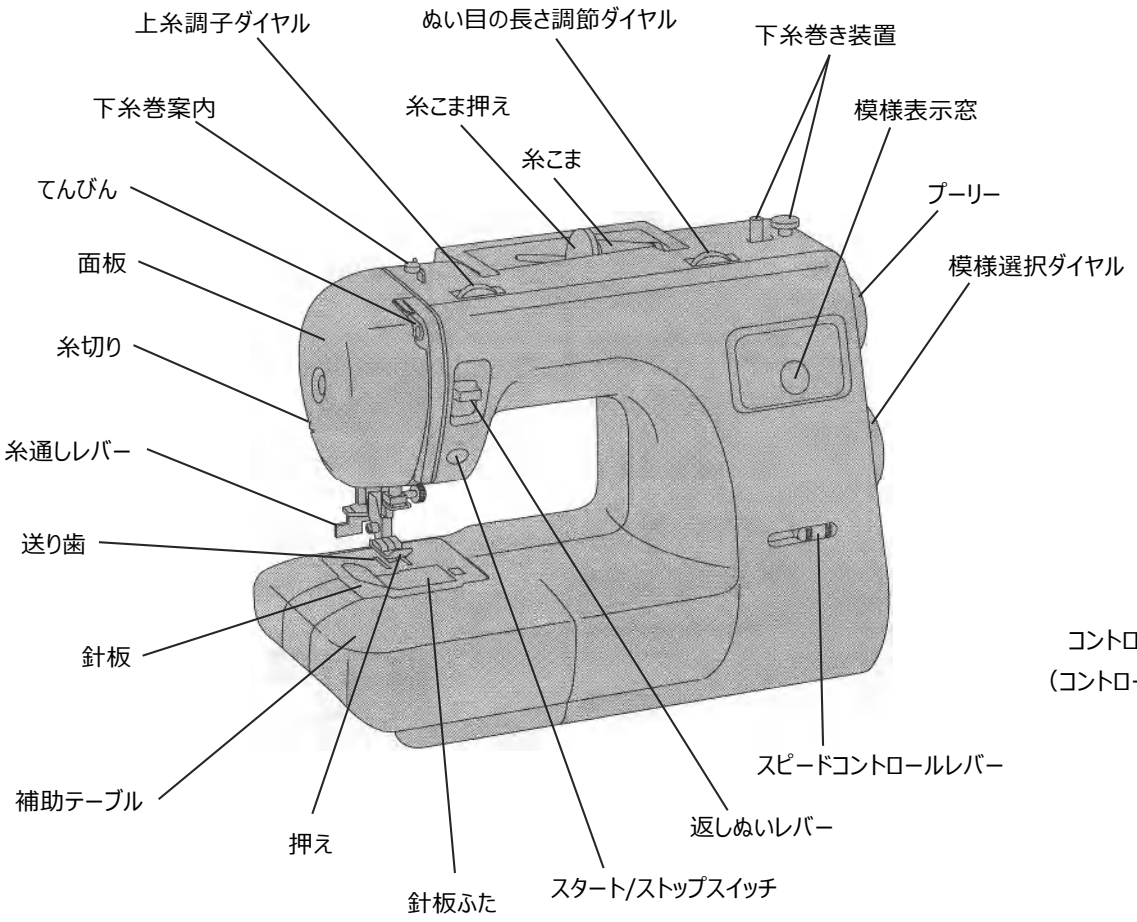


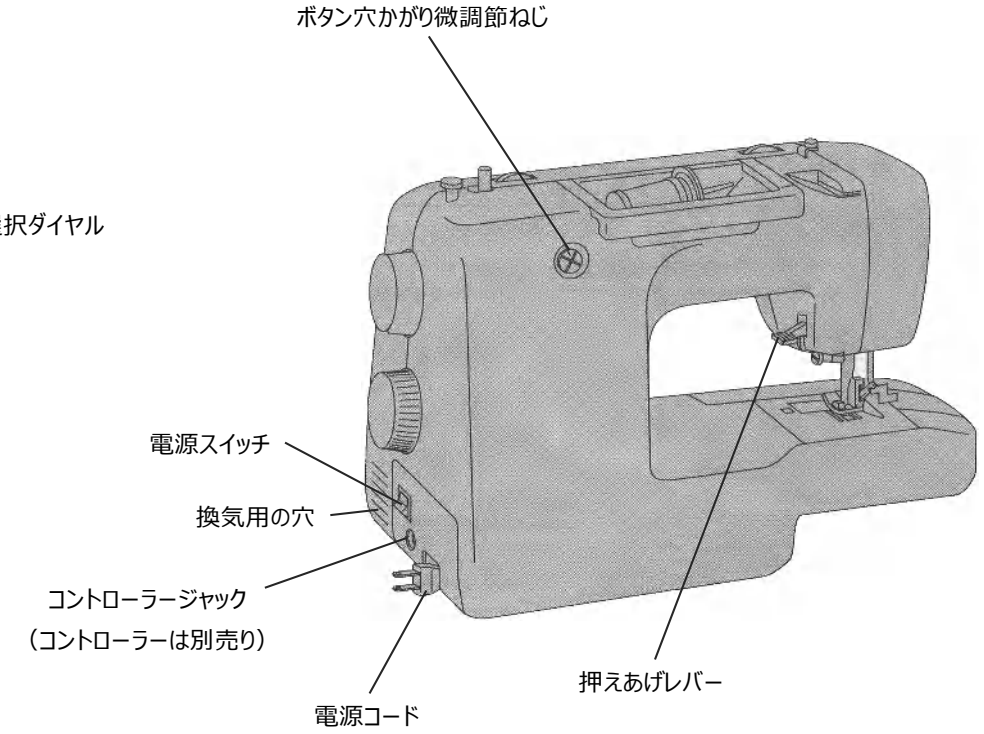
糸こま押え（大）

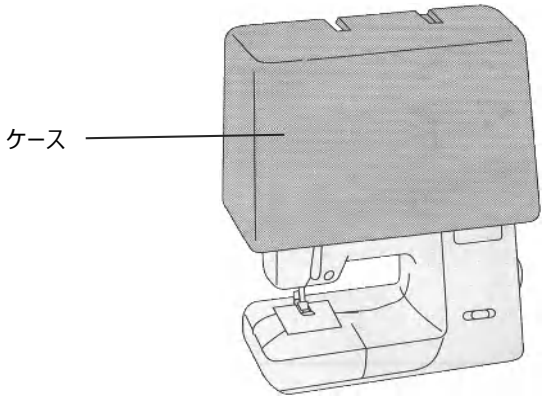
※ 糸こま押え（小）は、ミシンの糸たて棒についています。糸こまの大きさに合わせてお使いください。

★・・・調節することができます

■各部の名称







停電について

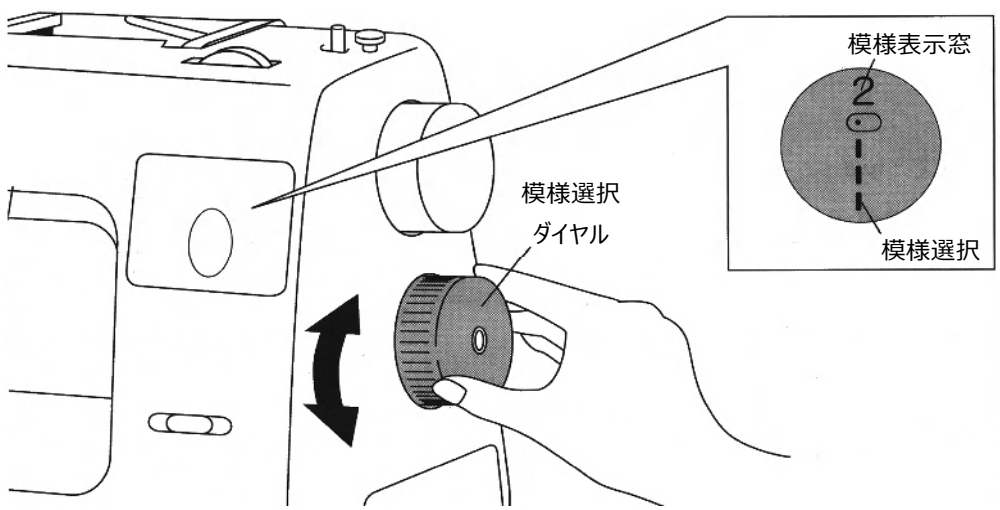
- 運転中に停電が発生した場合。
- ・ 電源プラグを抜いてください。
- ・ 再運転をされる場合は、運転の手順にもとづき正しく行ってください。

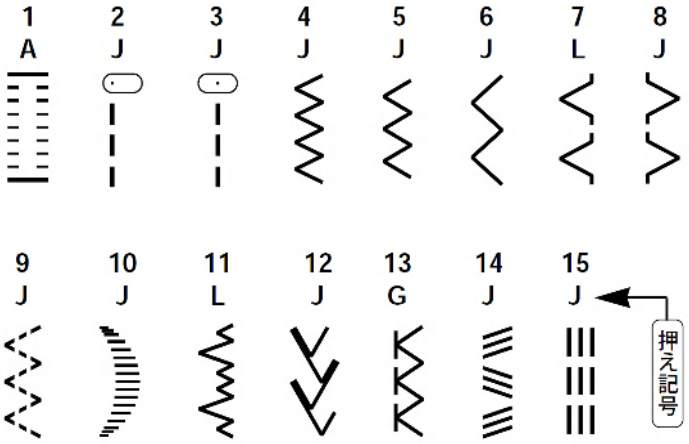
A ぬう前の知識

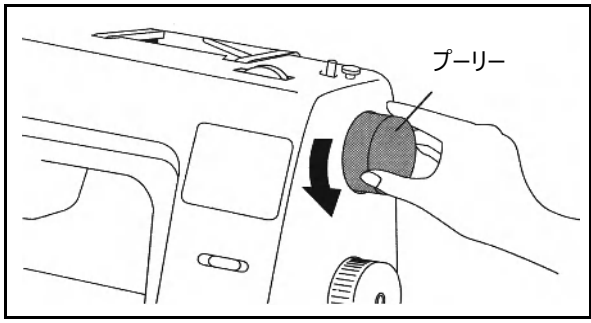
模様選択ダイヤル

模様選択ダイヤルを回して、模様選択をします。

- 模様選択ダイヤルは、必ず針が布地から上がっていることを確認してから回してください。 針が布地に刺さったまま模様を選択しますと針が曲がったり、折れたりする場合があります。



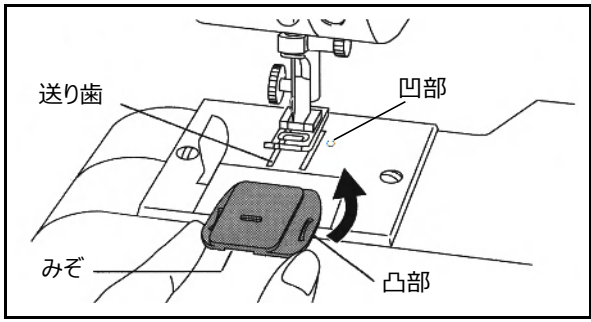




プーリー

プーリーを回すと、針が上下します。

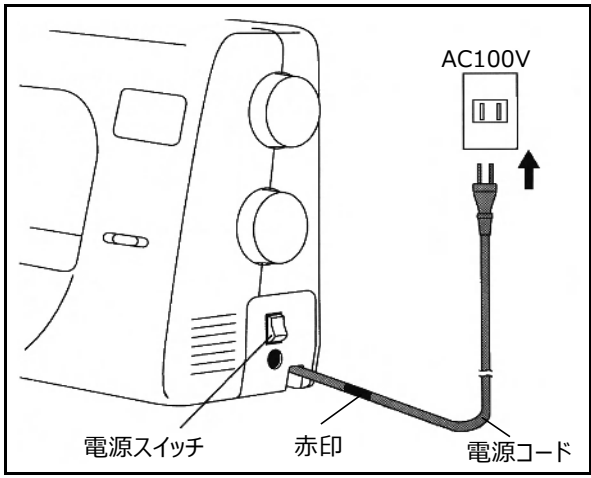
- プーリーは、必ず手前側に回してください。
- 模様選択する場合は、必ず針を上にしてください。



送り歯カバー

凹部と凸部を合わせます。取りはずすときは、みぞにつめをあて、はね上げてください。

※ ボタン付けなどのときに使ってください。



電源コード

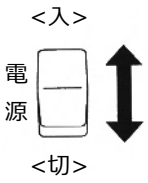
※ 電源コードを赤印以上は引き出さないでください。

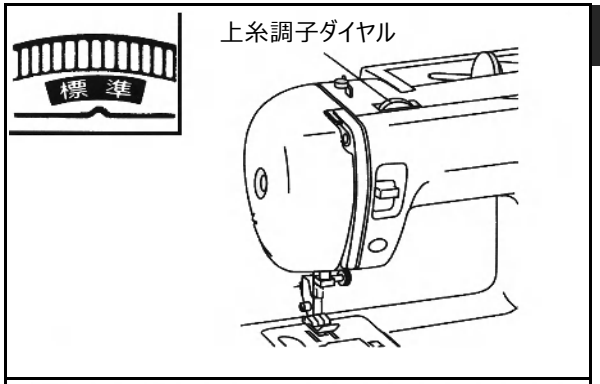
※ 電源コードをしまうときは、少し(1cm~5cm)引っ張ってから離してください。

※ ミシンを使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

■電源スイッチ

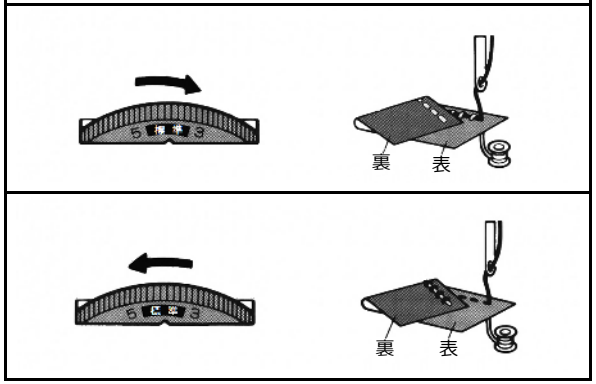
押え・針・ランプの交換時は、電源スイッチを切ってください。





上糸調子ダイヤル

糸調子ダイヤルは［標準］の位置が目安となりますが、正しい糸調子を得るために、実際にお使いになる生地の端切れで試し縫いをして、糸調子を調節して下さい。

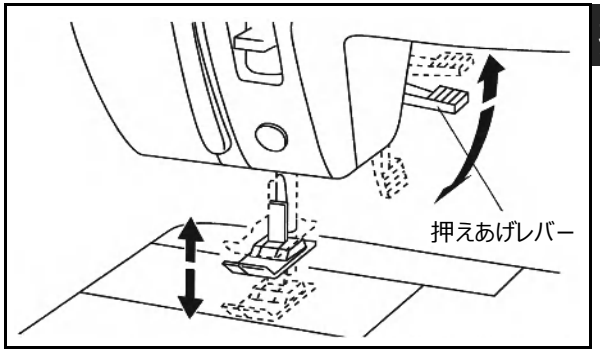


■ 上糸を強くしたい場合

上糸調子ダイヤルを右に回します。
上糸と下糸の重なりが上(表)にできます。

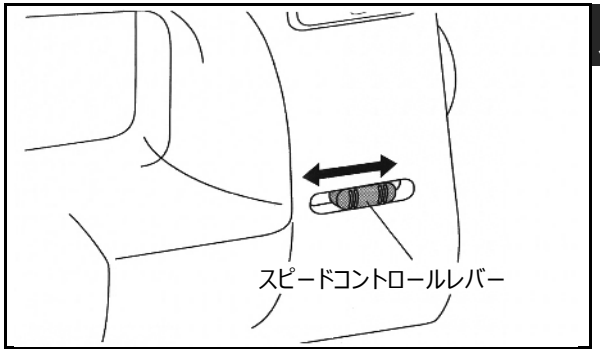
■ 上糸を弱くしたい場合

上糸調子ダイヤルを左に回します。
上糸と下糸の重なりが下(裏)にできます。



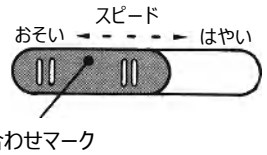
押えあげレバー

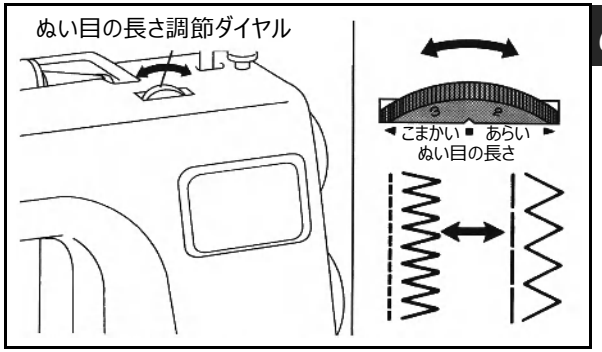
レバーを下げると押えが下がり、布地を押えます。
厚地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げて入れます。



スピードコントロールレバー

※ 初心者の方はミシンになれるまで”おそい”でお使いください。

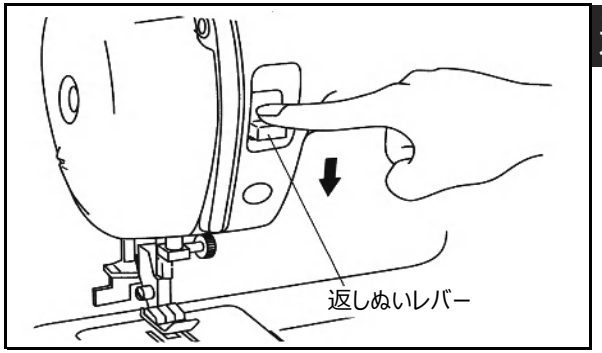




ぬい目の長さ調節ダイヤル

１針１針のぬい目の長さを変化させることができます。

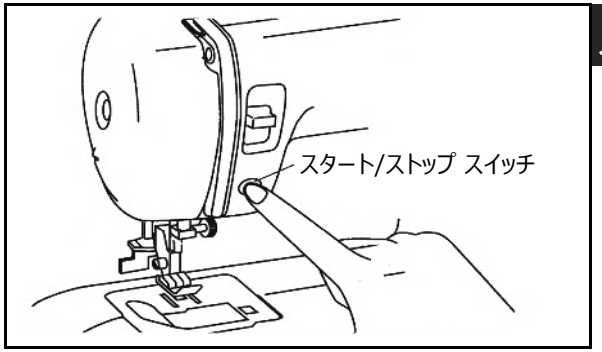
- 選んだ模様によっては調節できません。（１ページぬい方早見表参照）



返しぬいレバー

レバーを下げている間は返しぬいを低速で行います。

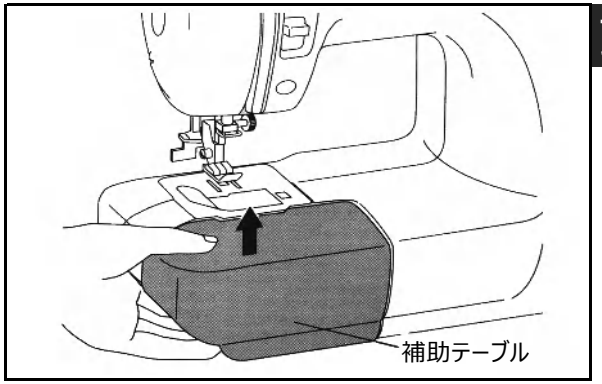
- 下糸巻き軸が、下糸巻きの状態になっていると、ミシンは動きません。



スタート/ストップスイッチ

スイッチを押すとスタートし、もう一度押すとストップします。

- スイッチを押している間は、低速でぬいます。
- ミシンを停止させると、針は上で止まります。



フリーアームにするには

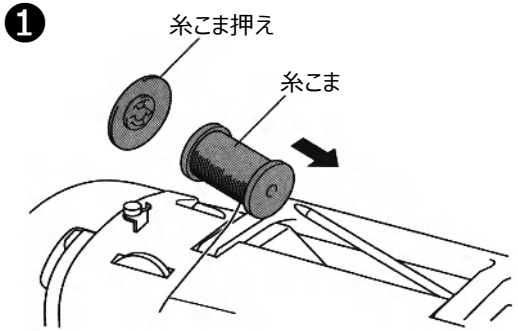
筒物ぬいのときは、補助テーブルを上へ上げ、取り外しますと、フリーアームになります。

B 糸の通し方

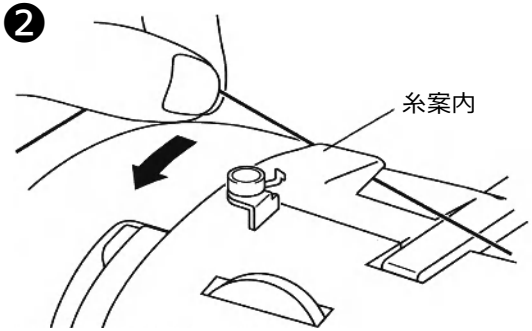
■ボビンの下糸巻き

ボビンは、専用ボビンをご使用ください。（モデル名：B052…5 個セット）

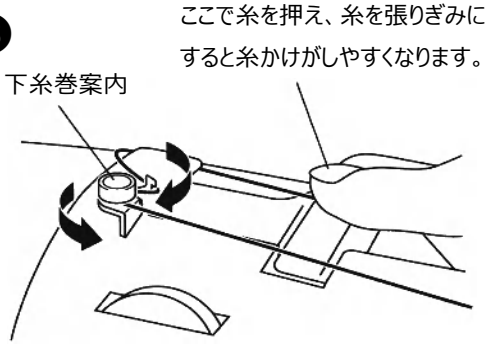
❶



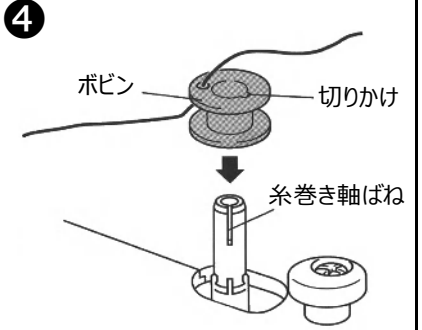
❷



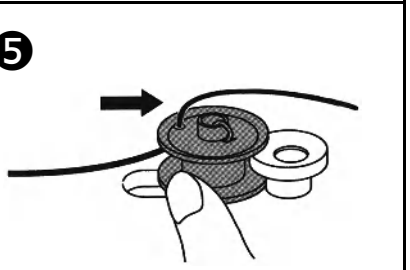
❸



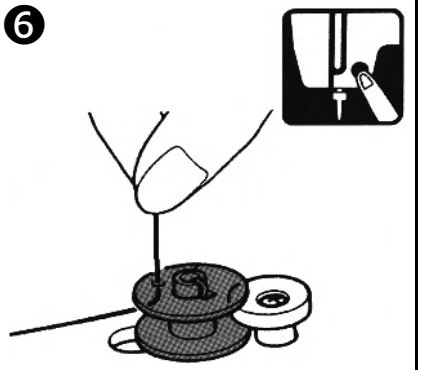
❹

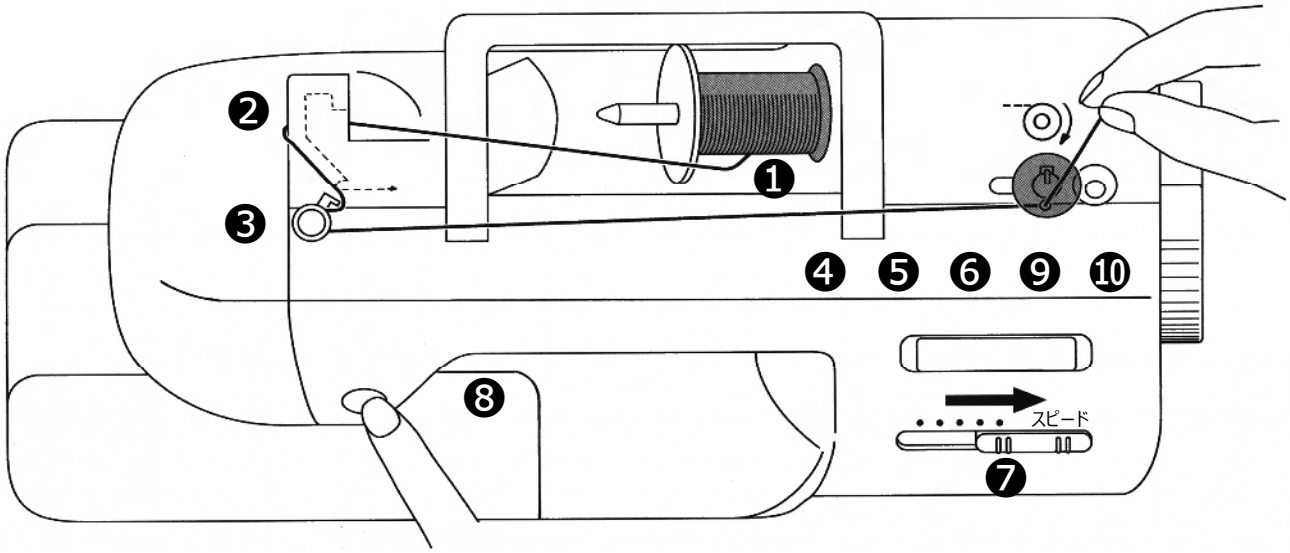


❺



❻





プーリーを手前に回して、針を上げます。

押えを上げます。

プーリーを手前に回します。

スタート／ストップスイッチを押します。

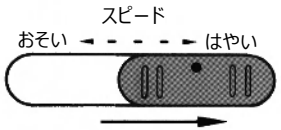
押えを下げます。

電源スイッチを切ります。

4 ボビンの穴に糸を通し、切りかけと糸巻き軸ばねを合わせてしっかりはめます。

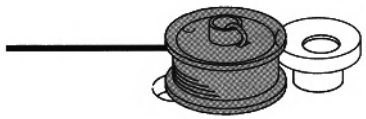
5 糸端を持ち、ボビンを右へスライドさせます。

6 糸端を持ってスタート／ストップスイッチを押し少し巻いたら、ミシンをいったん止めて糸端を切ります。

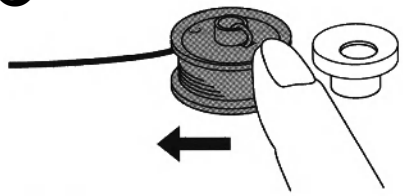
❼


7 スピードコントロールレバーを＜はやい＞に合わせます。

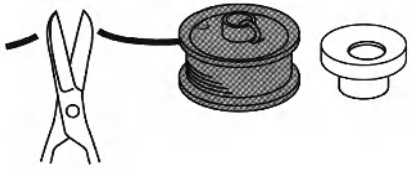
❽



8 スタート／ストップスイッチを押して、糸巻きをスタートします。
巻き終わるとボビンの回転は止まります。
巻き終わったらスタート／ストップスイッチを押して止めます。

❾


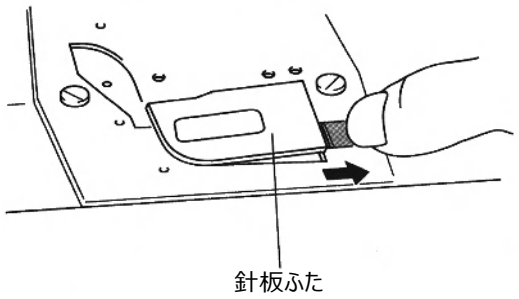
9 ボビンを左へもどします。

❿


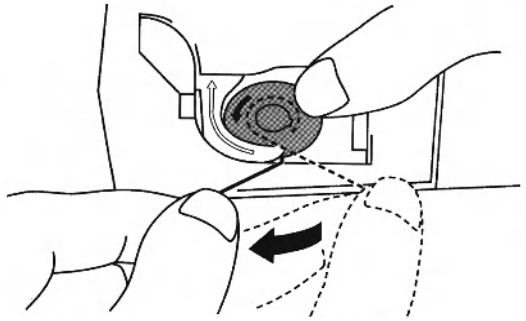
10 糸端を切り、ボビンをはずします。

注 下糸巻きをしたあと、次にミシンを運転するか、またはプーリーを手回しするとき、初めにクラッチがつながる音が発生しますが、トラブルではありませんのでご了承下さい。

■ 下糸のセット　※下糸を引き出す必要はありません。

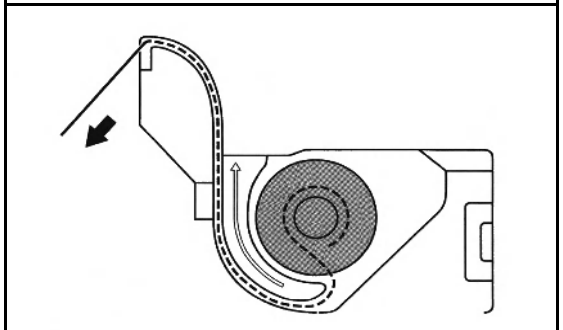


1 針板ふたをはずします。

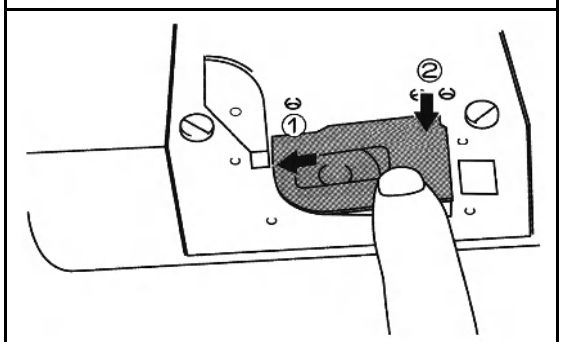


2 矢印の向きから糸が出るようにボビンをセットします。

※ 専用のボビンをお使いください。



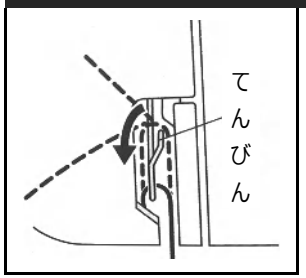
3 糸をみぞにそって通し、手前に引き糸を切ります。



4 針板フタをセットします。

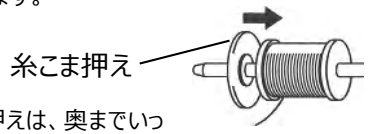
※ 下糸を引き上げなくてもそのままぬい出せます。

■上糸のかけ方

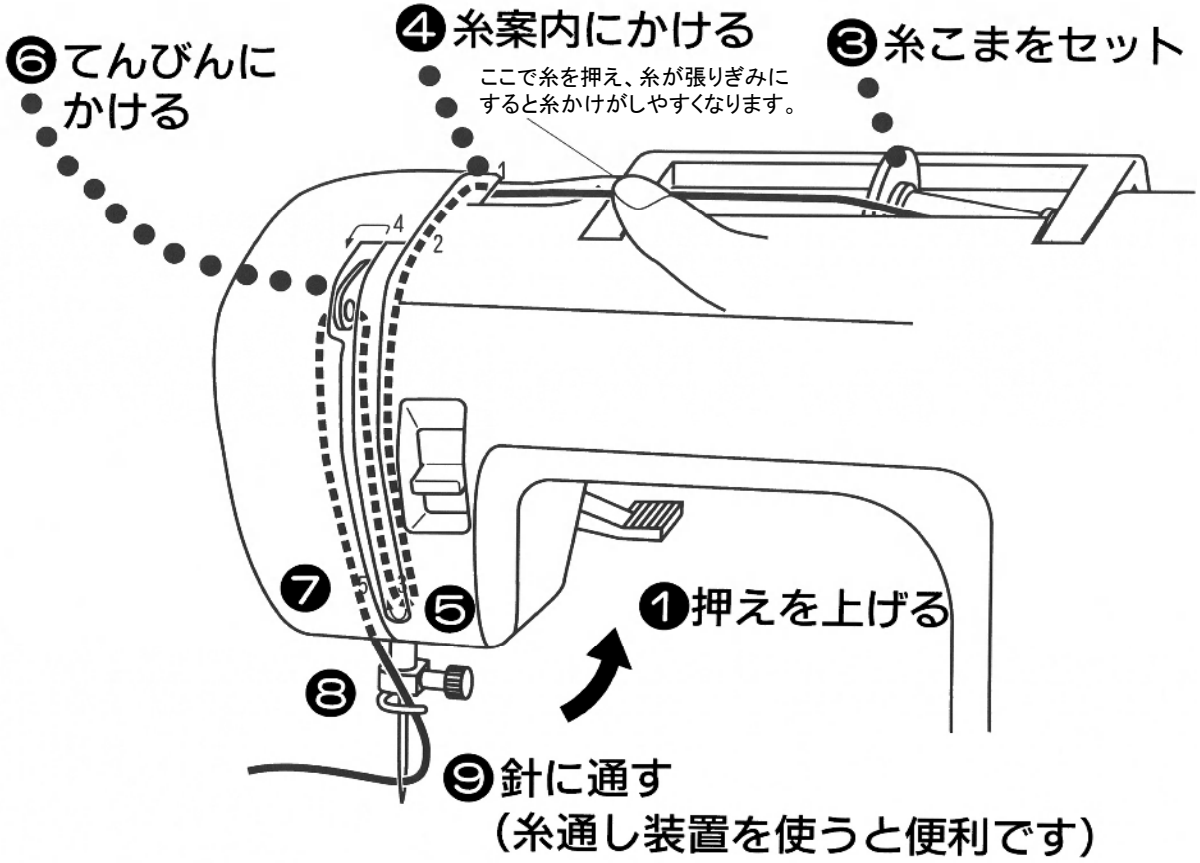


❷プーリーを回してんびんを上げる

■ 糸こまは糸が手前から出るようにセットします。



※ 糸こま押えは、奥までいっぱいに差し込んでください。糸こま押え(大)と(小)は、糸こまの大きさに合わせてお使いください。

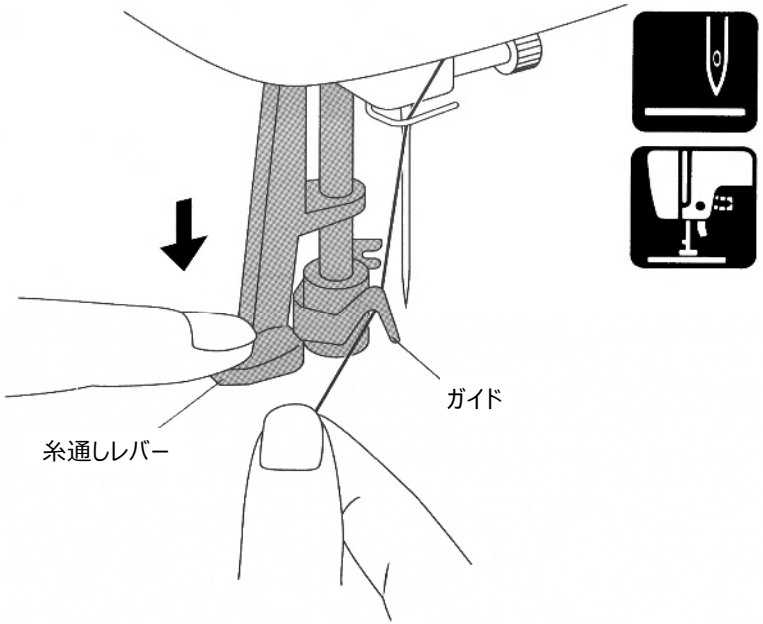


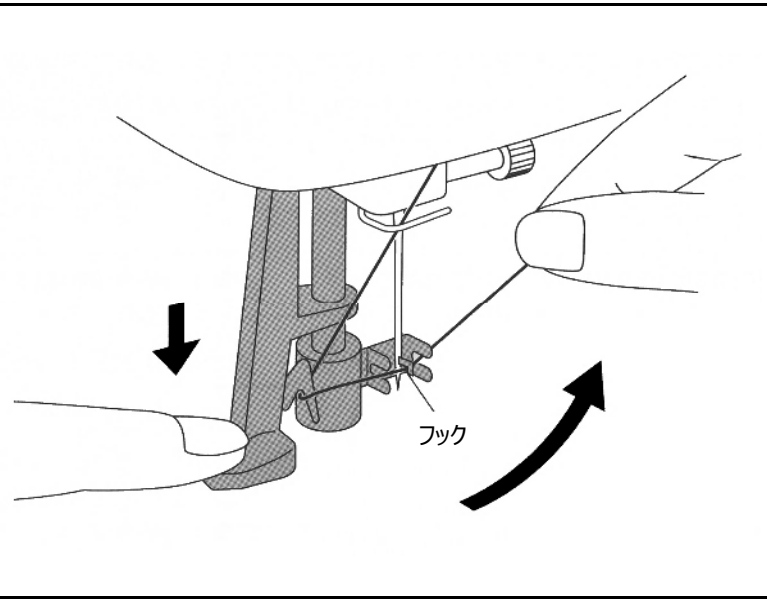
注

①をしないと、糸がらみの原因となります。

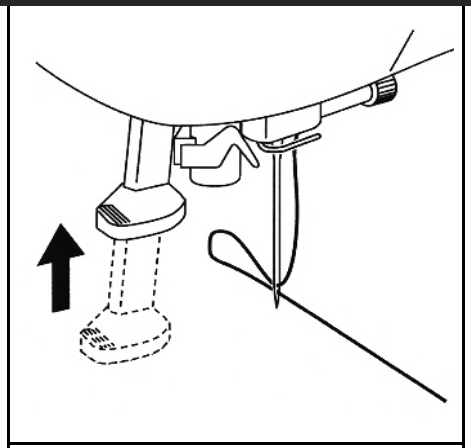
押えが下がっていると⑤のミゾ内部の皿が閉じてしまい、糸が正しく入りません。

糸通し装置の使いかた

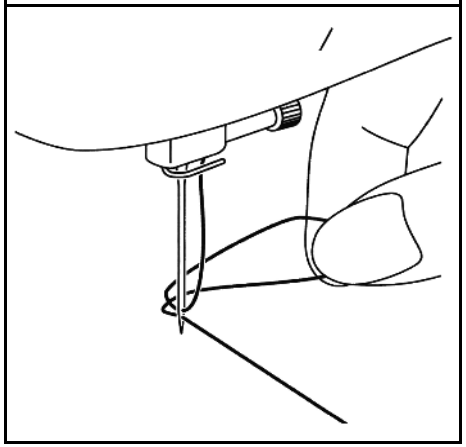




1 プーリーを手前に回して針を上げ、押えあげレバーを下げます。



2 糸通しレバーを下げながら、糸をガイドにかけます。



3 糸通しレバーをさらに下まで下げ、糸をフックにかけます。

- 糸を手前に引き、フックにかかっているか確認してください。

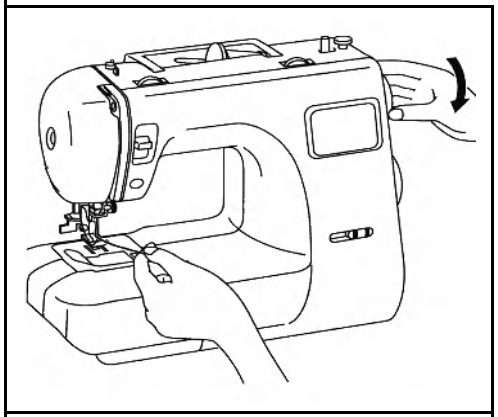
4 糸をかるく持ちながら糸通しレバーを上げます。

5 上糸をうしろへ引き出します。

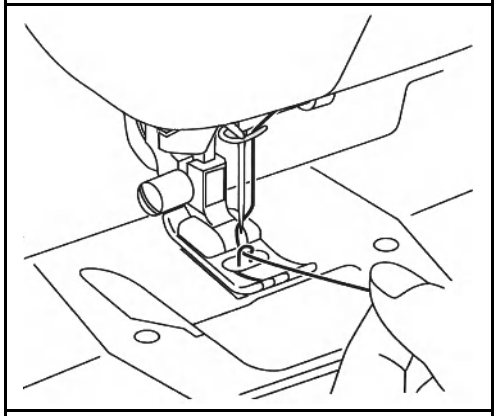
- 糸通し装置は針11～14番の範囲でご使用ください。なお、針と糸の適切な組み合わせは早見表(P1)を参照してください。また、ナイロン透明糸は上記に関係なく、針14～16番の範囲内でご使用ください。

手動で下糸を引き出す場合

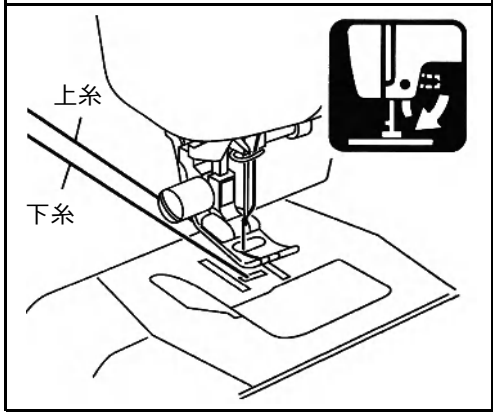
ギャザーやダーツなど、あらかじめ下糸を余分に引き出しておきたいときは、手動で下糸を引き出します。



1 上糸をかるく持ち、プーリーを手前にゆっくり１回転させ、針を上げます。



2 上糸を引き上げて下糸を引っ張り出します。

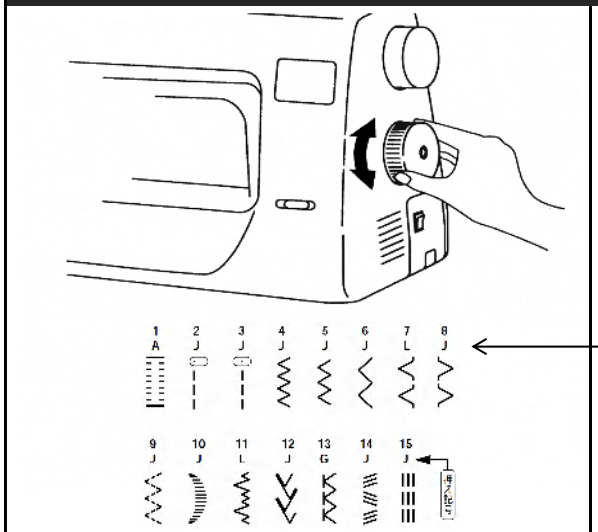


3 上糸・下糸を15cmほど出しておきます。

※ 始めのセット状態では、上糸のみ引き出せばぬい始める事ができます。

C ぬってみましょう

■基本操作

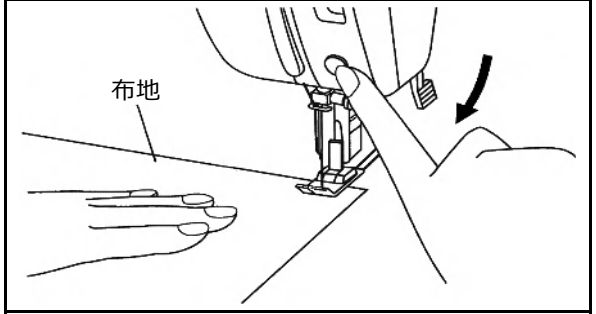


押え記号

1 模様選択ダイヤルで模様を指定します。

2 指定した模様に合わせ、押えと付替えます。

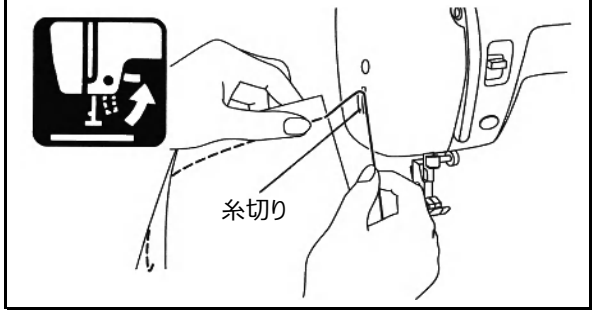
(［押えの付け替え方］参照)



3 布地を入れ、押えを下げます。

4 スタートします。

- スタート／ストップスイッチを押し続けると、その間低速でぬいます。
- 手はかるく布地に添えます。

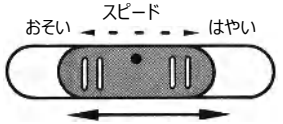


5 再びスタート／ストップスイッチを押してストップします。

6 押えを上げ、糸を切ります。

■ぬい目の長さ調節
選んだ模様によっては、ぬい目の長さ調節はできません。

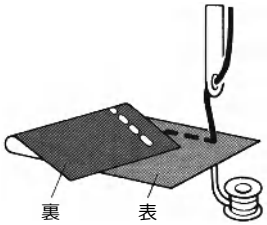
■スピード調節
ぬっている途中でも調節できます。



■ジグザグの振り幅は自動的に設定されますので調節することはできません。

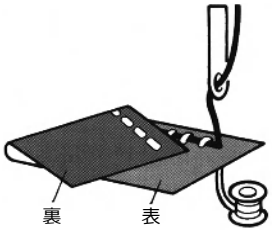
■糸調子

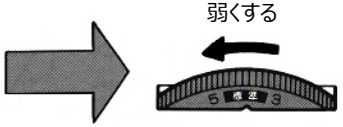
■正しい糸調子
上糸と下糸の交差が布地と布地の間にできます。



糸調子ダイヤルは［標準］の位置が目安となりますが、正しい糸調子を得るために、実際にお使いになる生地の端切れで試し縫いをして、糸調子を調節して下さい。

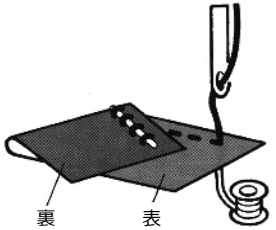
■上糸が強い場合
上糸と下糸の重なりが上(表)にできます。

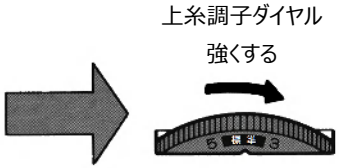




※数字を小さくします。

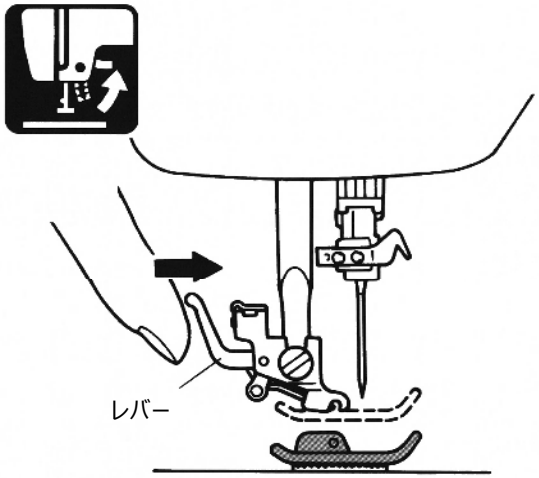
■上糸が弱い場合
上糸と下糸の重なりが下(裏)にできます。





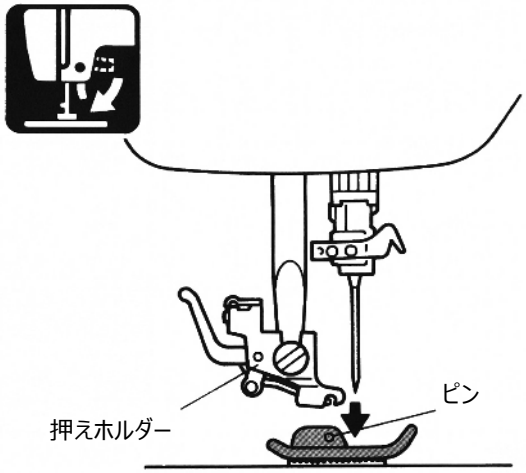
※数字を大きくします。

■押えの付け替え方



■ 取りはずし方

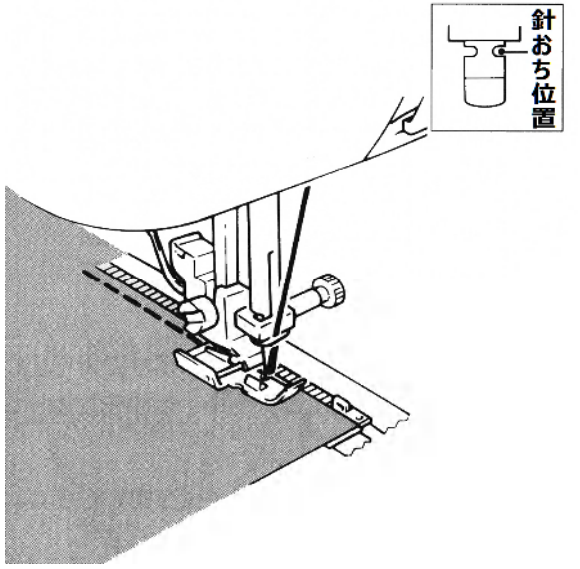
押えを上げ、押えホルダーのレバーを押します。

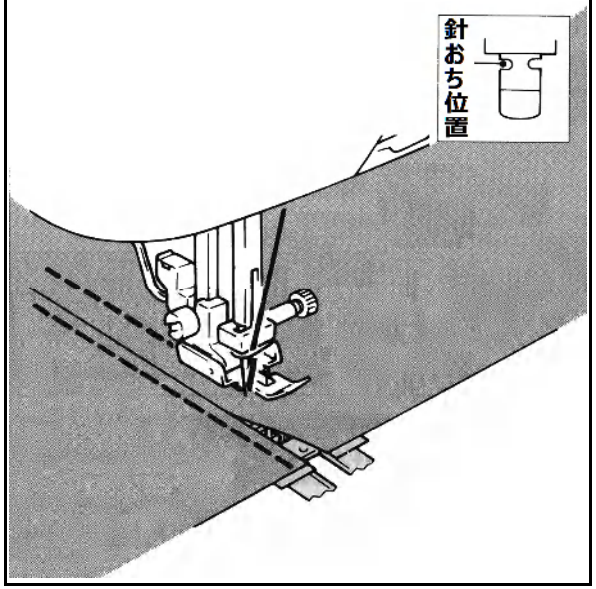


■ 取り付け方

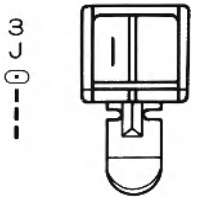
押えホルダーの真下に押えのピンがくるように置き、押えを下げます。

■片押えの使い方





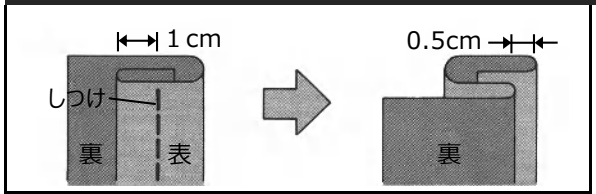
● 模様番号＜３＞にセットします。



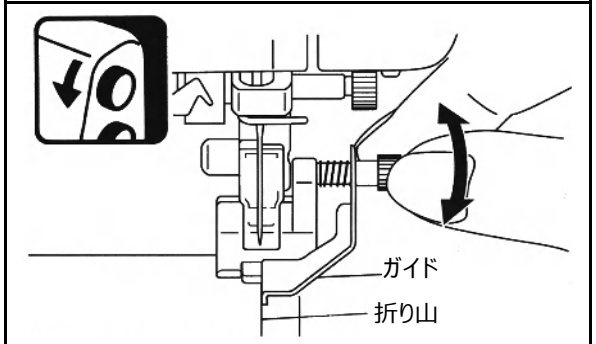
1 押えホルダーを片押えの右側に付け、打ち合わせの下になる方を先にぬいます。

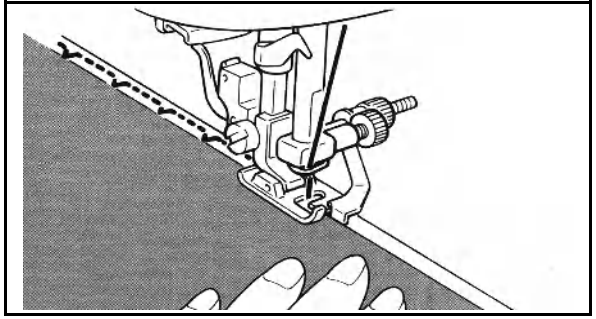
2 押えホルダーを片押えの左側に付け替え、打ち合わせの上になる方を先にぬいます。

■まつりぬい押えの使い方

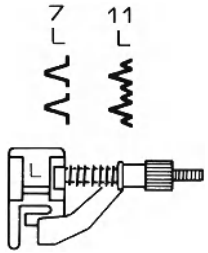


■ 厚い布地の場合





● <L>押えに付け替え、模様番号<７>を指定します。



● のびる布地の場合は、<L>押えに付け替え、模様番号<11>を指定します。

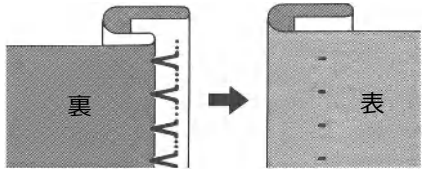
1 布地を折ります。

2 左の針おちがわずかに折り山にかかるように、布地をセットします。

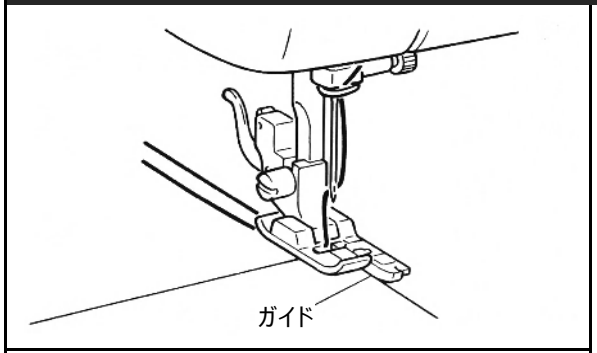
3 折り山にガイドを合わせます。

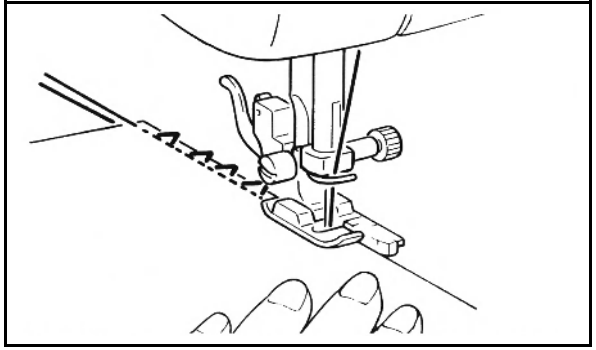
4 ぬい始めたら、折り山がガイドに合うように手を添えます。

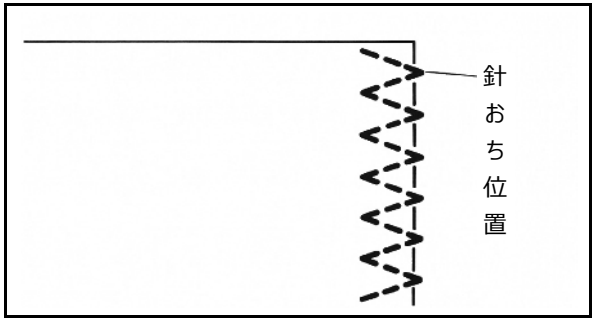
5 裏に返します。



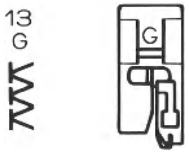
■裁ち目かがり押えの使い方







● <G>押えに付け替え、模様番号<13>を指定します。



1 押えのガイドに布端が合うように布地をセットします。

2 ぬい始めたら、布端がガイドに合うように手を添えます。

● 裁ち目かがりのぬい上がりは、素材により上糸と下糸の重なりがわずかに下(裏)に出る場合があります。

※ 模様番号<4>のときは、裁ち目かがり押えは使わないでください。

■ のびる布地の場合

必ず<J>押えに付け替えてください。

布地は、針が布端より少し外側におちるようにセットします。

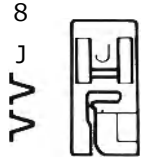
■ジグザグ押えを使った飾りぬい　シェルタック

上糸調子ダイヤル
強くする

上糸調子

針落ち位置
針は布端よりわずか外側に落とします。

● <J>押えに付替え、模様番号<８>を指定します。

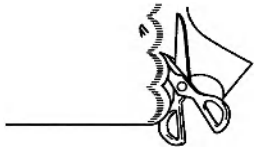


上糸調子を強くしてぬいます。

注）シェルタックは、薄地（ジョーゼット等）に使用します。

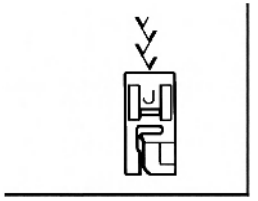
■ジグザグ押えを使った飾りぬい　スカラップステッチ　フェザーステッチ

※スカラップステッチ

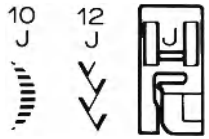


ぬい終わったら、ぬい目に沿って切ります。

フェザーステッチ



● <J>の押えに付け替え、模様番号（スカラップステッチ：10、フェザーステッチ：12）を指定します。

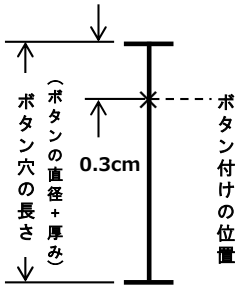


※ ぬい目の長さ調節ダイヤルを<F>に合わせてぬいますが、布地によってはぬい目調節の必要な場合があります。

■ボタン穴かがり押えの使い方　●必ず試しぬいをしてください。

■たてのボタン穴かがり

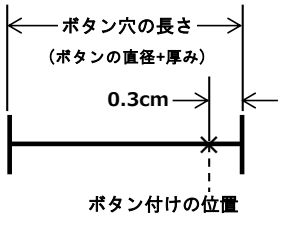
シャツなどの細い前立てや小さなボタンをたくさん並べてつける場合によく使われます。ボタン付けの位置より0.3cm上側からしるしを付けてください。

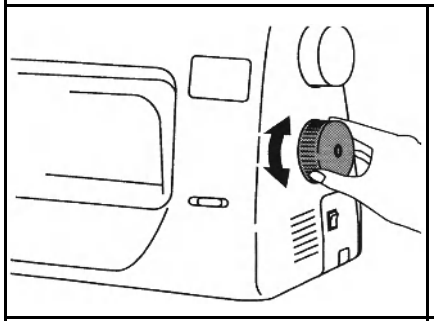


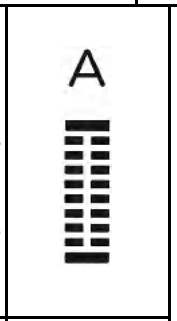
■横のボタン穴かがり

丈夫なので、ほとんどの服に使われます。

ボタン付けの位置より0.3cm外側からしるしを付けてください。

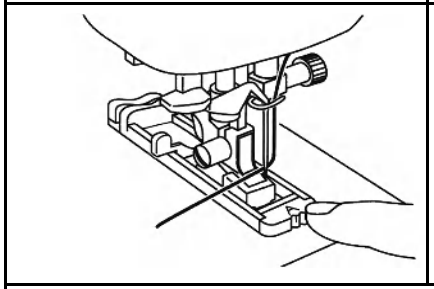


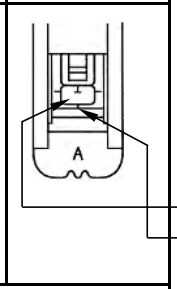




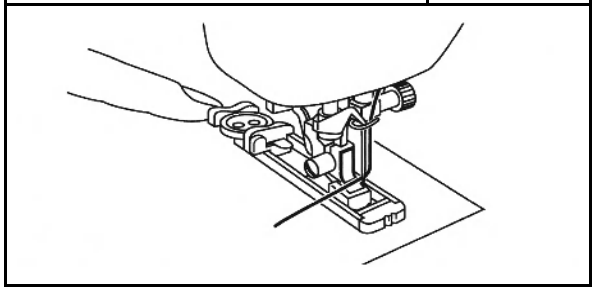
1 模様選択ダイヤル＜１＞を指定します。

※ ぬい目の長さ調節ダイヤルを<F>にあわせてぬいますが、布地によってはぬい目調節の必要な場合があります。
P13「ボタン穴かがりのぬい目調節」参照

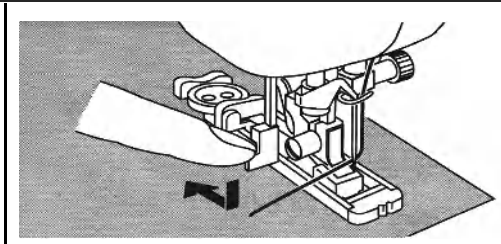




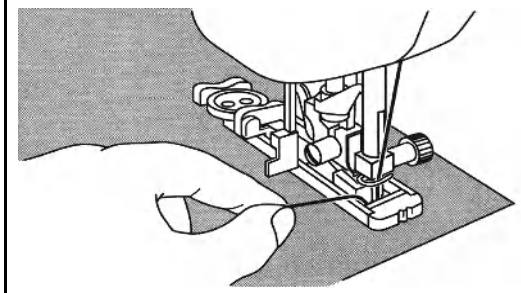
2 ボタン穴かがり押えをセットし、布地を入れ、布地のしるしに押えのしるしを合わせて、押えを下げます。



3 台皿を引き出し、ボタンをのせてはさみます。

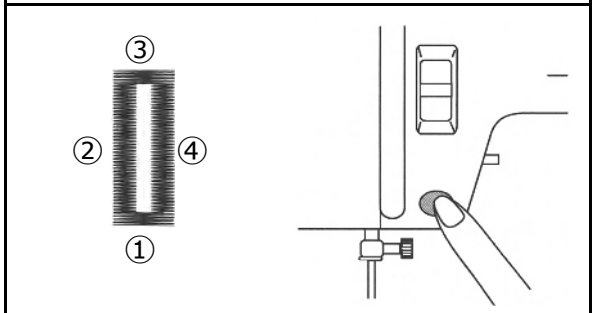


4 ボタン穴かがり用切替レバーを下げ、レバーをうしろへかるく押します。

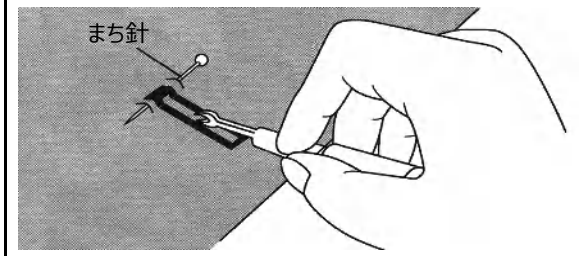


5 上糸を持ってぬいます。

※ 手は布地にかるくそえてください。



6 ①②③④の順番で自動的にぬえますので④をぬい終わったらスタート／ストップスイッチを押してストップさせます。



7 糸端を裏で結び、リッパーで切り開きます。

■ボタン穴かがり押えの使い方

ボタン穴かがりを失敗したとき

失敗した場所により操作がちがいます。

その１

1. 押えを上げて糸をほどきます。
2. ボタン穴かがり用切替レバーを手前にかるく引きます。
3. 10針ほど空運転させます。
4. ボタン穴かがり用切替レバーをうしろへかるく押し、始めからぬいます。

その２

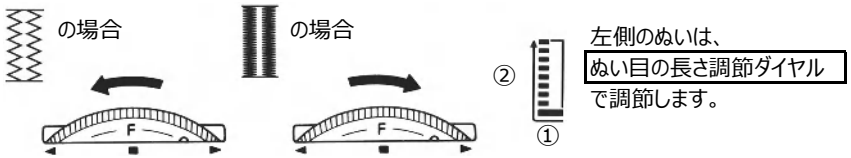
1. 押えを上げて糸をほどきます。
2. ボタン穴かがり用切替レバーをうしろへかるく押し、始めからぬいます。

ボタン穴かがりのぬい目調節

1 ぬい目の長さ調節ダイヤルをＦに合わせ、模様①をぬいます。

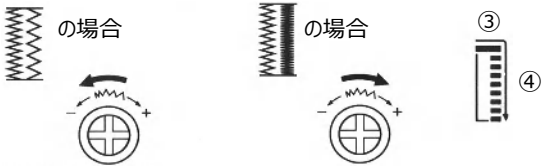
ぬい目の長さ調節ダイヤル)

2 ぬい目長さ調節ダイヤルを回し調節します。



左側のぬいは、
ぬい目の長さ調節ダイヤル
で調節します。

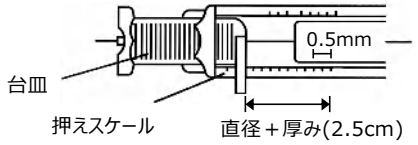
3 左側のぬい目と比べ、ボタン穴かがり微調節ねじを回して調節します。



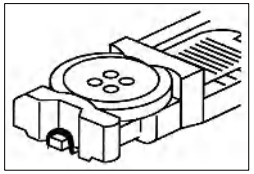
右側のぬい目は、
ボタン穴かがり微調節ねじ
で調節します。

ボタンが台皿にのらない場合

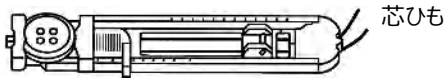
押えスケールの目盛にボタンの直径＋厚みの寸法をセットします。
(例)直径1.5cm、厚み1cmのボタンの場合、
スケールを2.5cmにセットします。



のびる布地の場合

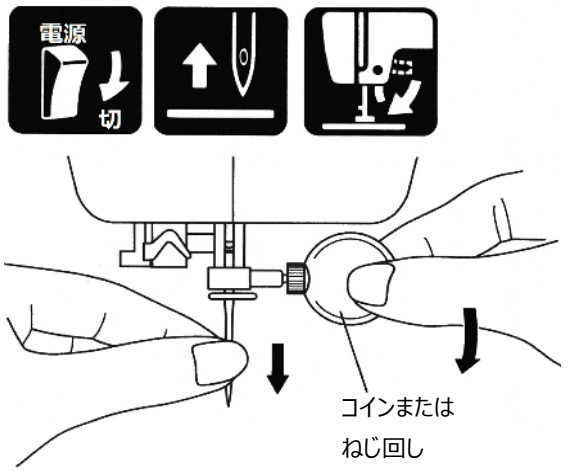


のぶる布地にボタン穴かがりをするときは、
ボタン穴かがりに芯ひもを入れてください。



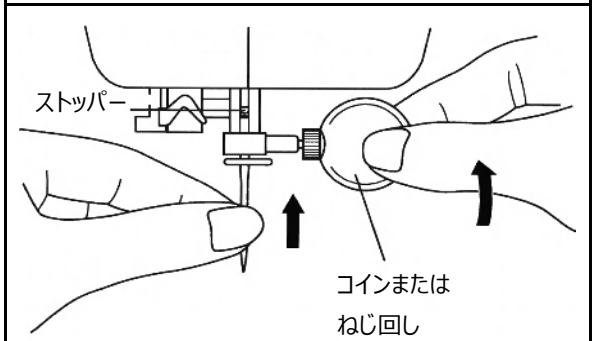
D ミシンを大切に

■針の交換

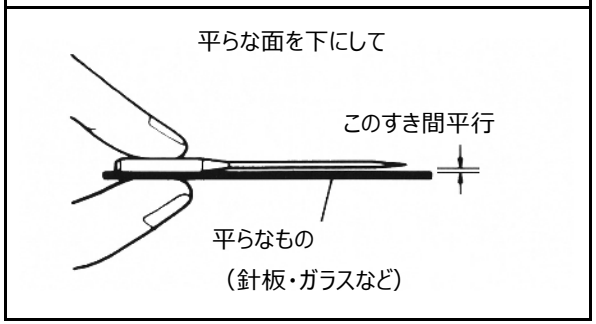


1 電源スイッチを切り、針を上げ、押えを下げます。

2 ねじをゆるめて針を抜きます。



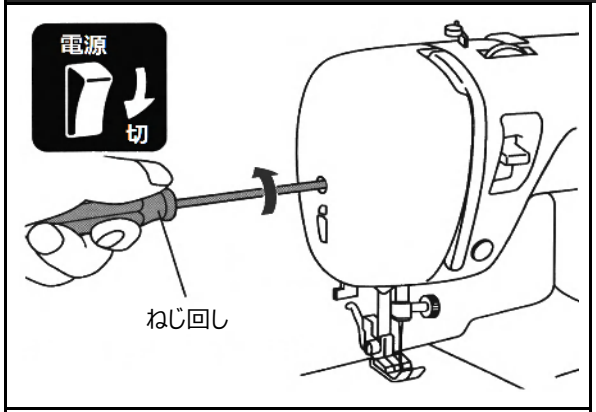
3 針の平らな面をうしろにしてストッパーに当たるまで差し込みねじを締めます。



■ 正しい針の調べ方

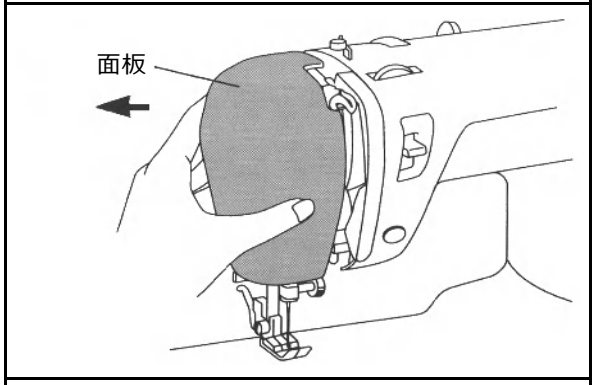
■ランプの交換

※ランプは（8V、2.4W）は最寄りのブラザー販売店でお買い求めください。（部品コード：X50228-051）

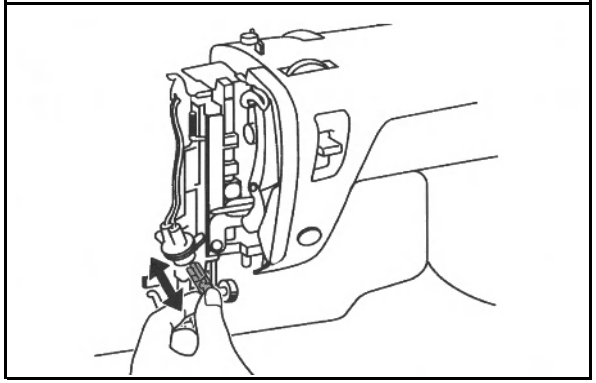


1 電源スイッチを切ります。

2 ねじをはずします。



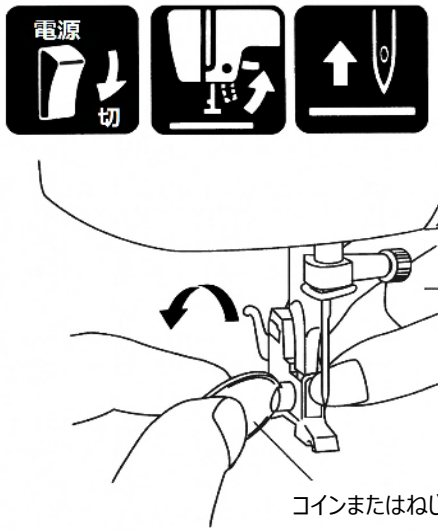
3 面板を取りはずします。



4 ランプソケットを引き抜き、新しいランプを取り付けます。

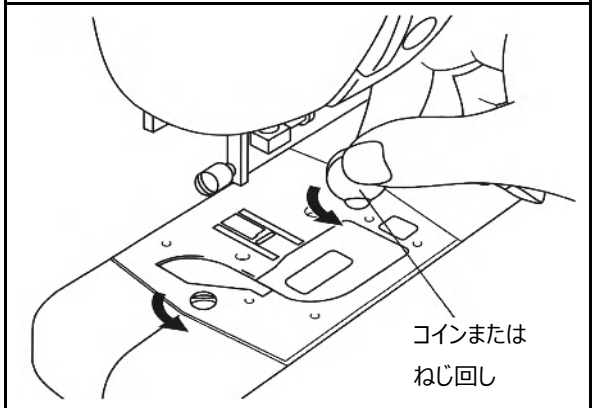
5 面板を取り付け、ねじを締めます。

■お手入れ

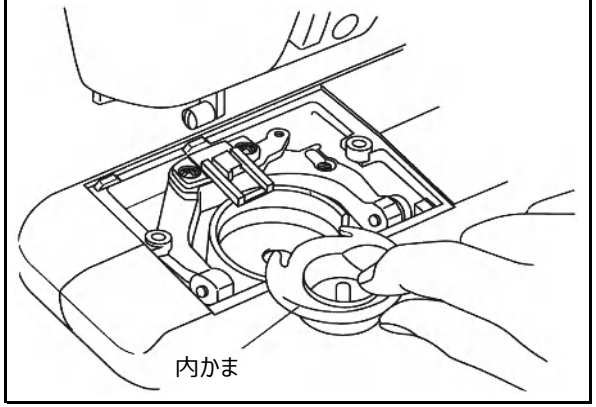


1 電源スイッチを切り、押えと針を上げます。

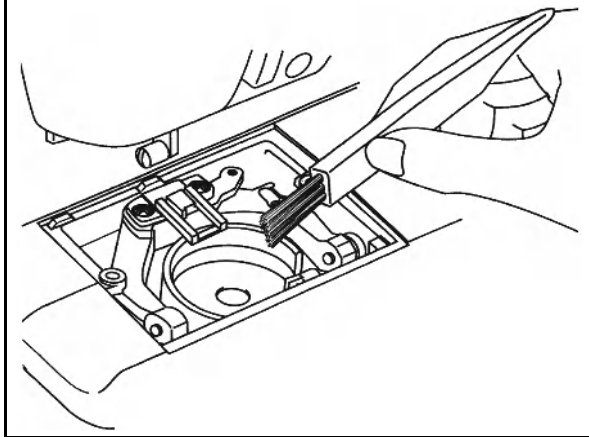
2 押えホルダーと針をはずします。



3 針板をはずします。



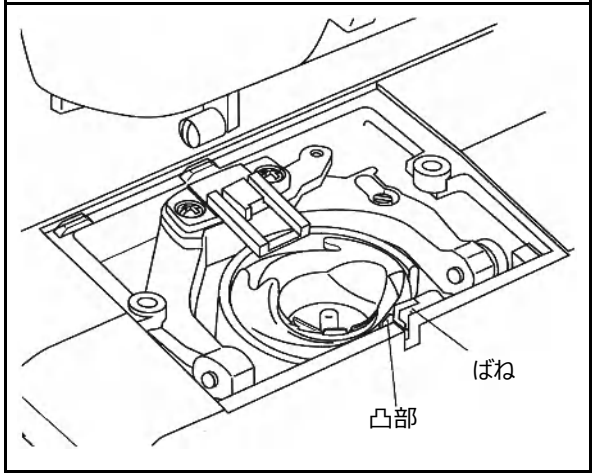
4 内かまを取り出します。



5 ほこりや糸くずを取り除きます。

- 内かまは、やわらかい布でふきます。
- 取りにくい糸くずは、ピンセットや掃除機で取り除きます。

※ 内かまには油をささないでください。



6 内かま・針板の順に取り付けます。

- 内かまの凸部とばねを合わせてセットしてください。

■ いつもきれいに

かるいよごれは、やわらかい乾いた布でふいてください。ひどいよごれは中性洗剤を溶かした湯または水に浸した布でふき、次に湯または水を浸した布で洗剤をふきとってください。

■ ミシンの大敵

ストーブやアイロンは近づけないでください。
ベンジン・シンナーなどは絶対に使わないでください。保管するときには、直射日光をさけてください。

■トラブルチェック

ミシンの調子が悪い場合は、まずは次の原因を確かめましょう。

※右下の数字はページ数です。

上糸が切れる	糸のかけ方がちがっている。 上糸を正しくかけ直す。 7	▶ 糸がからまっている。 上糸・下糸の確認。 6～8 針板・かまの掃除。 15	▶ 糸こまが正しくセットされていない。 糸口を下から出し、糸こま押えをしっかりと差す。 7	▶ 正しい針を使っていない。 正しい針に交換。 14	▶ かまにキズができている。 針板・かまをはずし、調べる。 15
下糸が切れる	糸がからまっている。 針板・かまの掃除。 15	▶ 内かまに糸が正しく通っていない。 一度ボビンを取り出し、セットし直す。 6			
ぬい目がとぶ	針が正しく付いていない。 針の向き、差し込みをしっかりと取り付ける。 14	▶ 正しい針を使っていない。 正しい針に交換。 14	▶ 布地・糸・針の組み合わせが不適当。 布地・糸・針の選択早見表参照。 1	▶ 針板の下にゴミがたまっている。 送り歯・かまの掃除。 15	▶ 糸のかけ方がちがっている。 上糸を正しくかけ直す。 7～8
布地にしわがよる	糸のかけ方がちがっている。 上糸を正しくかけ直す。 7～8	▶ 正しい針を使っていない。 正しい針に交換。 14	▶ 布地・糸・針の組み合わせが不適当。 布地・糸・針の選択早見表参照。 1	▶ 上糸調子ダイヤルを強くしすぎている。 上糸調子ダイヤルを弱くする。 9	
糸通しができない	針が正しい位置にない。 プーリーを回して針を上げる。 7～8	▶ 糸通しのフックが針穴に入らない。 フックが曲がっていないか調べる。 7			
布地を送らない	ぬい目の長さが不適当。 ぬい目の長さを調節する。 4・9	▶ 選んだ模様と押えの組み合わせが不適当。 ぬい方早見表参照。 1	▶ 正しい針を使っていない。 正しい針に交換。 14	▶ 糸がからまっている。 上糸・下糸の確認。 6～8 針板・かまの掃除。 15	
糸調子が合わない	糸のかけ方がちがっている。 上糸を正しくかけ直す。 7～8	▶ 下糸の入れ方がちがっている。 一度ボビンを取り出し、セットし直す。 6	▶ 布地・糸・針の組み合わせが不適当。 布地・糸・針の選択早見表参照。 1		
針が折れる	針が正しく付いていない。 針の向き、差し込みをしっかりと取り付ける。 14	▶ 正しい針を使っていない。 正しい針に交換。 14	▶ 布地・糸・針の組み合わせが不適当。 布地・糸・針の選択早見表参照。 1	▶ 布地を不当に引っ張っている。 手はかるく添えるだけ。 9	
ミシンが動かない	スタート／ストップスイッチが押されていない。 スタート／ストップスイッチを押す。 4・9	▶ 電源コード、電源スイッチが入っていない。 電源コードはしっかりを差し込む。 3	▶ 糸巻き軸が右のまま返し縫いボタンを押している。 糸巻き軸を左へもどす。 5～6		
回転が遅い音が高い	針板の下にゴミがたまっている、 送り歯・かまの掃除、 15				

●もし、それでも直らない場合は、お買い上げの販売店またはブラザー販売店にお申し付けください。

■アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書を大切に保存してください。
- 無償修理保証期間は、お買い上げ日より１年間です。
  （詳しくは保証書をご覧ください。）
  それ以降の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低８年保有しています。
  ・ 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または「お客様相談室（ミシン119番）」までお問い合わせください。

■お客様相談室

北海道お客様相談室	〒060-0063	札幌市中央区南三条西3-2-2	TEL：(011)-261-6631	FAX：(011)-221-3974
東北お客様相談室	〒980-0811	仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL：(022)-227-8877	FAX：(022)-227-8205
東京お客様相談室	〒104-0031	東京都中央区京橋3－3－8	TEL：(03)-3281-4204	FAX：(052)-824-3031
中部お客様相談室	〒467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町15-1	TEL：(052)-824-3193	FAX：(052)-824-3031
関西お客様相談室	〒550-0012	大阪市西区立売堀4－4－2	TEL：(06)-6531-4670	FAX：(052)-824-3031
中四国お客様相談室	〒730-0021	広島市中区胡町4－2-8	TEL：(082)-240-3762	FAX：(082)-240-1478
九州お客様相談室	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前2-3-12	TEL：(092)-431-6566	FAX：(092)-481-7268
本社お客様相談室	〒467-8577	名古屋市瑞穂区苗代町15-1	TEL：(052)-824-3125	FAX：(052)-824-3031

お客様相談室（ミシン119番）

〒467-8577　愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1

TEL：**0570-061-134**

受付時間：
月曜日～金曜日　9:00 ～ 17:30
（祝日、ブラザー販売株式会社の休日を除く）

お客様相談室はブラザー販売株式会社が運営しています。

ブラザー工業株式会社

愛知県名古屋市瑞穂区苗代町15-1　　〒467-8561

114-547
191547-1-51
9407①改